

学習の導入例

- 自宅の災害の危険性や避難経路を確認しているか?
- 災害になりそうなほどの大雨は何を見て判断したらよいと思うか?
- テレビのテロップなどで、大雨警報や警戒レベル、避難情報という言葉を見聞きしたことはあるか?
- 今まで、大雨が降ったときに避難をしたことがあるか? (避難した人は、何をもとに避難を判断したか?)
- 自宅の災害の危険性や避難経路を確認しているか?

学習の目標




避難情報などの特徴や入手方法を理解し、自分やまわりの人が適切なタイミングで避難できるようになること。

学習項目

- 1 防災気象情報
- 2 警戒レベルと避難情報
- 3 避難情報の正しい見方
- 4 情報の入手方法

学習の進め方

学習のねらい 演習問題との対応	学習動画・演習問題の学習内容における重要項目 ● 補足事項 ◆	学習内容を深めるための、生徒への投げかけ★
<p>1 防災気象情報</p> <p>「防災気象情報」「避難情報」の内容について理解し、これらの情報を活用することが、身を守る行動につながることを理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「防災気象情報」は、気象庁や都道府県などから発表される。 ● 「防災気象情報」は、住民に大雨などの状況を伝えるだけでなく、災害の危険度を認識し、避難準備などを進めてもらう役割も持つ。 ◆ 大雨警報等のほか、以下のような情報があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害警戒情報 ・指定河川洪水予報 (△山川氾濫注意情報・警戒情報・危険情報・発生情報) 	<p>★ 大雨注意報・警報など(動画に出てくるもの以外)のほか、どのような防災気象情報があるか? それはどんなものか?</p>
<p>2 警戒レベルと避難情報</p> <p>演習1</p> <p>警戒レベルと避難情報の対応を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「防災気象情報」と「避難情報」は、1から5までの5段階の警戒レベルを使って伝えられており、数字が大きくなるほど、災害の危険度が高くなる。 ● 「避難情報」は、住んでいる市町から発令される。 ● 避難を開始するタイミングは、住んでいる場所や避難に時間のかかる人がいるかによって異なる。 	<p>★ 警戒レベルや避難情報という言葉を見たことがあるか? それはどのような場面で聞いたか?</p>
<p>3 避難情報の正しい見方</p> <p>演習2</p> <p>適切なタイミングで避難するためには、避難情報の詳しい内容(取るべき行動)を正しく理解する必要があることに気づかせる。また、自分や家族などの場合に当てはめて、「自分ごと」として避難のタイミングを考えられるようになる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 危険な場所にいる人は、警戒レベル3または4で避難を開始。 <ul style="list-style-type: none"> 〔 ・警戒レベル3: 避難に時間がかかる人(高齢者・障がいのある人・乳幼児・妊婦など)とその支援者。土砂災害特別警戒区域などの著しく危険な場所にいる人 ・警戒レベル4: 上記以外の危険な場所にいる人は避難 ● がけのすぐそばなど、より危険な場所に住んでいる人は、避難情報の発表を待つことなく、自分たちの判断で、早めに避難することが大切。 ● 安全な場所にいる人は、避難しなくてもよい。 <ul style="list-style-type: none"> >>>自宅の災害の危険性の確認方法や自宅を避難先にする場合の詳細は、単元②を参照。 ◆ ペットを飼っている人で、避難に時間がかかる場合は、警戒レベル3で避難。 <ul style="list-style-type: none"> >>>ペットと避難する人はあらかじめ同行可能な避難先やペットを連れて避難できる場所(例.親せきの家)を確認しておく。 	<p>★ 家族などの中に、警戒レベル3で避難を始める必要がある人はいるか?</p> <p>★ 親戚や知り合い、近所の人の中で、警戒レベル3で避難を始める必要がある人はいるか?</p>

学習のねらい 演習問題との対応	学習動画・演習問題の学習内容における重要項目 ● 補足事項 ◆	学習内容を深めるための、生徒への投げかけ★
<p>4 情報の入手方法</p> <p>防災気象情報や避難情報の入手方法を理解する。</p>	<p>● 情報の入手先</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テレビ、ラジオ ・ 広島県防災Web (防災気象情報の発表状況や、避難情報などの情報をはじめ、土砂災害の危険度などをリアルタイムで確認)  <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島県防災情報メール通知サービス  <ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急速報メール ・ 信頼できる市町などからのSNS 	<p>★ 動画で紹介されたもの以外で、避難情報などの情報の入手先はあるか、話し合ってみよう。 (例) 防災行政無線、防災アプリ等</p> <p>★ 実際に情報を入手できるサイトを触ってみよう。 (例) 広島県防災Webを触ってみて、使い方やどのような情報が入手できるかを見つける。</p> <p>★ 自分はどこから情報を入手するか、その情報の入手先(テレビ等)から情報を入手するうえで気をつけなければならないことを話し合ってみよう。 (例) ・ 停電になったら、テレビが使えない。 ・ スマートフォンは電池の残量に注意。</p>
<p>あなたの避難開始のタイミング</p> <p>実践</p> <p>マイ・タイムライン作成ステップ③</p> <p>自分や家族などの避難開始のタイミングを考えることができる。</p>	<p>● 家族などの構成や住んでいる場所等の状況を考え、自分の避難のタイミングを考えることができる。 【学習した内容を実践】</p> <p>● 単元②【マイ・タイムライン作成ステップ②】に取り組んでいる場合は、避難先に行く時間なども考慮できている。 【複合的な要因を加味した避難のタイミングが考えられる】</p> <p>◆ 家族などに避難に時間のかかる人がいない場合でも、住んでいる場所によっては、早めに避難したほうがよい場合もある。 (例) ・ 土砂災害特別警戒区域等、著しく危険な場所に住んでいる人。 ・ 山間部に住んでいる、避難先が遠いなど避難に時間がかかる人や、徒歩での避難が難しい人。(車での避難が必要な人。)</p>	<p>★ 自分やまわりの人の場合、誰が、警戒レベル3・警戒レベル4のどちらで避難するか? またその理由は?</p> <p>★ 自分が決めた避難先に避難するには、どの程度時間がかかるか? (悪天候であること、一緒に避難する人の歩くペース、避難するときの装備などを考慮する。)</p> <p>★ 自宅を避難先にしていない場合、もしものときを考えて、避難を考えてもらいたい。 (例) 台風で飛んできたものが窓ガラスを割り、家にいることができなくなった。</p>